

令和7年度 学校経営方針

日置市立湯田小学校

学校経営の基本方針

持続可能な社会の実現のためには、知・徳・体のバランスのとれた人材育成が不可欠であり、その中核を担う学校教育の役割を認識した学校づくりを行う。

校訓「かしこく ゆたかに たくましく」

教育理念

- 1 自立への基礎を培う教育「かしこく」
自ら扉を開き、自ら求め、自ら創造し、生涯学び続ける主体的な人間を育てる教育を行う。
- 2 一人一人を大切に作る教育「ゆたかに」
人権尊重の立場に立ち、子供一人一人をよく見つめ、温かくも厳しい心の触れ合う教育を行う。
- 3 夢を育て、やる気を育てる教育「たくましく」
将来の展望に立って、これからの厳しい社会の中でたくましく生きる力を育てる教育を行う。

学校教育目標

主体的に学びに向かい 心豊かに たくましく生き抜く子供を育てる

めざす子供の姿

かしこく (Smart)

自分の考えをもち、主体的に課題解決に取り組み、よりよい考えを求める子供

ゆたかに (Kind)

人や物事に対して真っ直ぐに向き合い、あるべき姿を求める子供

たくましく (Powerful)

自他の生命を大切にし、心身ともに健康な生活を求める子供

キャッチフレーズ「明るく 楽しく 元気よく」 ATG Spirits

めざす教師の姿

- 職責感や使命感に燃え、教育愛にあふれる教師
- プロ意識をもち、45分間の授業で勝負する教師
- 子供とともに学び、地域とともに行動する教師

めざす学校の姿

- 学ぶ楽しさや友達と過ごす喜びあふれる学校
- 花と緑にあふれ、環境が整い、安全・安心に過ごせる学校
- 家庭や地域と強く結ばれた学校

めざす保護者・地域の姿

- 優しさと厳しさを備え、子供の人格を尊ぶ保護者・地域
- より望ましい家庭生活を創造する保護者・地域
- 学校と連携し、ともに子供の成長を支える保護者・地域

経営の重点

- 1 郷土の教育的風土、創立 155 周年の伝統を生かし、コミュニティースクールとして、保護者や地域と共に子供を育てる開かれた学校づくりを推進する。(風格ある教育の推進)
- 2 職員相互の融和と人間的な信頼関係をもとに、協働的で互いに高め合う職員集団を目指す。
- 3 持続可能な社会を担う子供たちの育成のために、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を推進する。
- 4 人権教育や特別支援教育、キャリア教育…等のねらいを踏まえ、個別最適な学びを推進する。
- 5 こども園等や中学校、高等学校との連携、社会とのつながりを大切にする。
- 6 人づくり・社会づくりを担うよりよい働き方や休み方、生き方を目指す。

努力点と具体策

努力点	主な具体策
1 社会に開かれた教育課程の工夫・改善	(1) 校訓に基づく学校教育目標の具現化を目指し、PDCAサイクルを生かしたカリキュラム・マネジメントの確立に努める。 (2) 郷土の教育的な風土や伝統を生かし、保護者や地域人材、地域素材などを活用しながら、より効率的な教育を追究する。
2 「教師力」の向上	(1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現や終末段階の充実を目指した日々の授業実践の工夫を行う。(学力向上マイチャレの徹底実践) (2) 個々の課題に即した個人テーマを設定し、計画的に追究して研究成果を全員で共有する。(一人1授業, 初任者研修, 経験者研修等) (3) 公私における常に節度ある態度の堅持と服務規律の厳正確保に努める。
3 主体的な態度と基礎学力定着を徹底する教育の推進 ～校訓「かしこく」～	(1) すべての子供が諸学力調査で伸びるよう、実態に応じた授業改善, 効果的な指導体制の工夫等に努める。(習熟度別指導, 自由進度学習, 専科指導, 一部教科担任制等) (2) 必要に応じて学年の枠を超えた繰り返し学習や基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる。(合言葉「徹底」) (3) 総合的な学習の時間の探究的な学習や長期休業中の自由研究などに各教科の学習を生かせるようにする。(リンクさせる)
4 思いやりのある豊かな心の醸成を目指した教育の推進 ～校訓「ゆたかに」～	(1) 教育活動全体を通じた道徳教育を推進するとともに、「考え、議論する道徳」の実践に努める。(別葉等の活用) (2) 人権教室や校内人権旬間の各種取組などにより、自他を大切にすると人権同和教育の充実に努める。 (3) あいさつ運動を積極的に推進し、誰もがにっこり笑顔であいさつできるようにする。
5 健やかな心身の育成を目指した教育の推進 ～校訓「たくましく」～	(1) 子供一人一人がめあてをもって継続的な体力づくりに取り組ませる。(1校1運動, 体力アップ! チャレンジかごしま, チェスト行けひおきっ子等) (2) 基本的な生活習慣を確実に定着させる。(おひさま運動, 早寝・早起き, 朝ご飯, お手伝い等) (3) 日常的なKYTや、意識的なはき物そろえ等により、自ら安全な行動ができるようにする。
6 特別支援教育の充実	(1) 子供一人一人の実態を確実に把握して、全職員で共通理解・共通実践する。 (2) 関係機関(特別支援学校やこども支援センター, SC, SSW)との連携を密にする。 (3) 個別の指導計画や支援計画, 移行支援シート等を活用する。
7 教育環境の整備と充実	(1) 複数による安全点検や衛生検査等を計画的に実施し、課題等に素早く対応するとともに、市教委との連携を図る。 (2) 計画的な校内掲示, 人権に配慮した言語環境, 学びを促進する設営などの工夫を行う。 (3) 1action1tryを実施し、業務改善に積極的に取り組む。
8 魅力ある学校づくりの推進と広報	(1) 授業参観や学習発表, 自由参観等を効果的に行い、保護者や地域, 関係機関との連携を図る。 (2) 積極的な新聞投稿や各種コンクールへの応募により学校や子供の輝きの場をつくるとともに、子供たちや先生方の輝きをホームページやブログ等により広く広報する。